

科コード	科 名	インダストリアル MD 3年	単 位	2	
科目コード	KG31001400	科目名	アパレル造形演習 (カット&ソー)	授業期間	通年

担当教員(代表) : マレイ(有)取締役 西川 真令	共同担当者 : マレイ(有) 中川絵里奈
----------------------------	----------------------

教育目標・レベル設定など
 丸編みカットソーの縫製的知識とミシン縫製取得
 美しいシルエットの立体裁断基礎知識とパターンと縫製の商品仕上げ指導。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、
 講義とパターン作図と縫製実習内容
 丸編みのニットジャージ素材の基礎知識と各種カットソーミシン縫製技術習得
 美しいシルエットの基礎知識を立体裁断で取得
 パターン作図技術、縫製、プレス、袋縫い納品までの実践指導。
 カットソー丸編み概論・丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と縫製の基本的知識
 の習得。パリコレや東京コレクションでの豊富な経験と知識の情報を伝える。



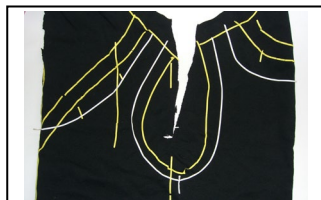
裏毛パーカー作図指導 各自実寸の製作

講義 4/14, #1,2

パーカー作図 縫い代付きの

講義 4/28 #3,4

立体裁断の作図



ダーツ無しの美しいシルエットパターンの立体裁断の実習指導
 工業パターンの習得と高級感のある縫い方技術指導を教える。

コラボデザイン企画の デザインから作図の指導

講義実習 5/12,#5,6

コラボデザインと作図

縫製実習 5/26 6/9 7/7,,,,,#7,8,9,10,11,12

マチ針を使わないで縫い上げる現代縫製工場の指導、

生地を理解させた商品としての縫製仕上げを原則として指導。

カットソーにおける W 付け衿とバインダー衿の基本的縫い方の習得、衿
 ネーム付け、選択絵表示、プレス、ビニール袋詰め、検品検針の商品とし
 ての実践的商品作りの縫製指導をする。

常にハイレベルな商品即ち製品作りを教える。

各自パーカーの平面作図の製作と、裁断。 講義指導 7/14, 9/15,10/6
 #11,12,13,14,15,16

服の常識・重ね合わせのフードの考え方指導
空グレー裏毛 30/10 の生地解説、多種フードのデザイン解説、
カンガルーポケットの縫製、テレコリブの縫製考察、
価値観を上げる縫い方衿折伏せテープの仕上げ縫製、

製品染めポロ衿シャツ



アパレル企業では一度は企画するであろう製品染めの経験を指導する
精練綿糸の縫製指導、綿鹿の子解説、
ポロ衿あき 男明き、女明き前立て作図 講義指導 10/20 #17,18

編立てリブ、袖リブ、衿織り伏せテープの編みたて発注。
リブの耳を使う高級仕上げ縫製指導 一枚のパターンで作る前立て
縫製、一枚のパターンで作る片玉縁ポケット、袖口リブの高級仕上げ、
クラシック・スリット縫製指導

縫製実習 11/10,11/24,12/8 #19,20,21,22,23,24,25,26

提出が遅れている生徒は1月調整、縫製仕上げを見る。

1/11、、、 #27,28



製品染めポロシャツ染色

服を形成する 染めはTOPS 染め、先染め、反染め、製品染めの総て
を1年間で実践的に学ぶカリキュラムです

製品染めを企画する会社は多くよい経験となることでしょう。

縫製実習 202231 /27 #29.30

評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

主要教材図書 「カットソー・立体裁断・縫製」の本

参考図書 洋書

その他資料 パリコレや東京コレクションで製品縫製した素材 やサンプルを参考見本とする

授業の特徴と担当者員紹介

特徴：

現在の日本人デザイナーの問題点を越えた、ノーダーツで美しいバストシルエットと美しい衿のデザイン指導。

縫製はイージーな開発国的縫製ではなく クラシックは基本縫製を含めての現代縫製のマチ針を使わない高度な縫製を簡単に教えること、一枚のパターンで作られる創造的な既製服パターンを指導すること。実践教育としての考え、社会に出て即 就職した企業で活用できるパターン・縫製・デザインの指導教育。

担当者員紹介：

大学卒業後文化服装学院服飾産業科編入学 デザイン科在学中に川上三郎繁三郎や山本寛斎のコンサルティングの仕事をする、(株)寛斎 入社後国内チーフデザイナーでパリコレを手伝う、帰国後は(株)アルファキュービック、(株)菊池武夫でデザイナー後、1985年マレイ(有)設立 (株)イッセイミヤケ、(株)ヨウジヤマモト、ナカノヒロミツ等のサンプルと量産を手がける、現在もトーガ、アンダーカバー、ヨウヘイオウノ、ピアンカ、コズミックワンダー等デザイナーブランドを手がけ、幾多の特許取得とTVショッピング等に企業活動をしている。

記載者書名欄 マレイ(有)取締役西川真令

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG3	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科3年	単 位	2
科目コード	科目名 テキスタイル造形演習	授業期間	通年

担当教員: 眞田玲子	
------------	--

教育目標・レベル設定など
前期: テキスタイルデザインにおける先染め、後染め、染色仕上げ加工の技法の理解と習得。
後期: 「手織り」を通じて、布帛の構造や特徴を理解することで、アパレルデザインにおけるテキスタイルの可能性を学ぶ。

<p>【授業計画】</p> <p>「染色加工」</p> <p>1 布地の造形要素として背景、意義、目的の理解をする</p> <p>先染め 直接酸性染料にて原料、繊維の染色方法を学ぶ 精練 漂白等工程の復習 2コマ</p> <p>表面加工及び地風、地合いの表現を学ぶ テクスチュアと加工、後加工、固着 8コマ、 溶解 4コマ 抜染 2コマ 等 (計 16コマ)</p> <p>「織物実習」</p> <p>基礎織り 織機の構造及び 紡毛 綿糸2種の糸を用いて制作を通して素材違いから織物風合い、特徴を理解する。1コマ</p> <p>ウールの原毛フェルトによる 立体小物制作(ドライフェルト ウェットフェルト制作) 2コマ</p> <p>プラプレートによる表面効果 アルミホイル スポンジなど 様々な資材で線から面を構成する。1コマ</p> <p>(計 4コマ)</p> <p>「オリジナルの布作り」</p> <p>卒制や コンテスト出品をふまえ 各自の企画でオリジナルテキスタイル制作 また、アパレル素材 ファッショングッズ、小物の企画、制作 (10コマ)</p>

評価方法・対象・比重 : ①試験0% ②課題提出 70%③授業姿勢 10%④出欠席 20%⑤その他0%による総合評価

主要教材 アパレル染色論(文化服装学院教科書)
参考図書 なし
その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介
染色加工技法(浸染・捺染・溶解)や織物組織 素材の違いを実習を通して習得する。
眞田玲子 企業におけるテキスタイルデザイナーの経験をもとに繊維素材の実用性、アパレルデザインにおける必要な図案や素材との調和など染色加工の企画制作を指導。

記載者書名欄 眞田玲子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12422	科名	インダストリアルマーチャンドライジング科2年	単 位	2
科目コード	600910	科目名	ファッションマーケティング I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 佐々木 貞夫	共同担当者 :
-------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 アパレル業界におけるマーケティング業務の実務を講義と実習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる「実学」を目指す。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

(前期)

テーマ マーケティングの概要 講義 コマ数=6
 ・マーケティングとは ・マーケティング発想のデザイン画 ・ブランディングの方法論
 ・新宿ルミネ市場調査

テーマ ブランドマーケティング実践 実習 コマ数=8
 ・ブランドのターゲット設定 ・ターゲットイメージマップ作成 ・ブランドコンセプト設定
 ・MDマップ作成 ・ブランドプレゼンテーション

(後期)

テーマ ファッションマーケットの現状と課題 講義 コマ数=4
 ・ファッションマーケットの流れ ・アパレルの生産体制
 ・販路別特性 ・現状の問題点とその解決案

テーマ ブランドマーケティング実践 実習 コマ数=8
 具体的な商業施設を想定したブランドマーケティング
 ・ターゲット設定と分析 ・コンセプト設定
 ・イメージマップ作成 ・生産計画表作成
 ・MDマップ作成 ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重
 出席 10% 課題 40% 授業内課題 30% 授業理解度 20%

主要教材図書
 参考図書
 その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレル企業におけるデザイナー、MD 職の経験をもとに、アパレル業界におけるマーケティング業務の実務を講義と実習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる実学を実施

記載者書名欄 佐々木 貞夫

科コード KG2	科名 インダストリアルマーチャンドライジング科 2年	単 位	2
科目コード 501610	科目名 色彩計画 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 天野豊久	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など
 1年次『服飾デザイン論』で習得した色彩の基礎を発展的に学習する。
 配色やイメージ表現などの基本的な色彩スキルをトレーニングしたのち、コンセプト策定からプレゼンテーションまでの色彩計画の考え方を演習を通して学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. 概論	産業における色彩の役割 流行色の仕組み	〈講義 2コマ〉
2. カラーコーディネート	色相・トーンによる配色 ファッションカラーコーディネート フォ・カマイユ/トーン・オン・トーン/トーン・イントーン/トータル ナチュラル・ハーモニー/コンプレックス・ハーモニー 色彩調和論 配色ファイルの作成	〈講義および演習 9コマ〉
3. 色彩心理	色彩の心理的効果/色の連想・象徴 イメージと配色/色彩によるイメージ表現	〈講義および演習 3コマ〉
4. 色彩とコミュニケーション	慣用色名と系統色名/カラーシステムとカラーコード 色名ファイルの作成	〈講義および演習 3コマ〉
5. トレンドカラーの分析	情報収集と整理・分析/製品色の提案	〈講義および演習 4コマ〉
6. トレンドカラーの提案	社会、ファッション環境の現状調査 コンセプトの策定/次シーズンへの提案 プレゼンテーション資料の作成	〈講義および演習 9コマ〉

評価方法・対象・比重
 S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書
 文化ファッション体系服飾関連専門講座9『服飾デザイン』(文化服装学院編/文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介
 演習を中心とする。
 天野豊久 東京造形大学造形学部美術学科卒 日本色彩学会会員